

令和二年度彙報

本年度の総合仏教研究所は、所長を種村隆元、副所長を加島勝、石川琢道の両名が務め、研究所の運営にあたった。また、横山裕明が研究所主任、児玉瑛子が事務運営を担当した。

研究所講師は、阿部真也、房貞蘭の計二名であった。さらに、竹村牧男先生、齊藤隆信先生、矢野秀武先生、の計三名を特別講師に迎える予定であったが、新型コロナウイルス感染症予防のために特別講座はすべて来年度に延期となった。

次に、本年度の研究所の主な活動についてまとめる。

○所内研究発表

総合仏教研究所では、研究生全員と新任研究員に研究発表を義務づけている。本年度も三回にわたり、研究所に在籍する研究生六名と新任研究員二名による研究発表会を開催した。その開催日、発表者および題目については「活動日誌」を、また発表内容については「所

内研究発表会発表要旨」をご参照いただきたい。

○特別講座・公開講座

総合仏教研究所では、研究成果の公開および学術交流を目的とし、各種講座を開催している。しかし、新型コロナウイルス感染症予防のために学外招聘講師による講座はすべて中止となり、来年度に延期となった。

公開講座は、研究所講師および研究員により、それぞれの専門分野から二回にわたり開催された。これらの講座の内容については、「公開講座要旨」をご参照いただきたい。

○研究活動

総合仏教研究所では、ひとつの「研究テーマ」に対して、講師・研究員・研究生がそれぞれの専門領域を生かしながら参加する「研究会」が組織され、この研究会を単位とする研究活動に対して助成が与えられている。

本年度の研究助成には、更新・継続申請の本研究会十一件と新規申請の研究会二件があった。また、活動

終了の本研究会一件があった。総合仏教研究所運営協議会の厳正なる審査を経て、十二研究会の助成申請全てが承認された。

○研究助成

【本研究会】

〈更新承認〉

・仏教文化におけるメディア 代表 森 覚（本学講師）

・仏教史料研究 代表 石井 正稔（綜仏研究員）

〈継続承認〉

・モンゴル仏教史研究会 代表 阿部 真也（綜仏講師）

・『真俗雜記問答鈔』の訳注研究

・近世唱導文芸研究会 『類雑集』の翻刻と研究 代表 小宮 俊海（本学講師）

・室町期における諸宗兼学思想の研究 代表 平間 尚子（綜仏研究員）

・中世東国仏教研究 代表 大八木隆祥（綜仏研究員）

・梵語仏典研究会 代表 安井 光洋（本学講師）

・密教聖典研究会 代表 駒井 信勝（本学講師）

・大乘經典思想研究 代表 伊久間洋光（綜仏研究員）

〈新規承認〉

・The Development of the Concept of Mirror and its

Reflection 代表 房 貞蘭（綜仏講師）

・鎌倉仏教人師の伝記資料研究

代表 安孫子稔章（綜仏研究員）

〈活動終了〉

・「大学と宗教」〈新大学制下の宗教系大学に関する研究〉

代表 松野 智章（本学講師）

以上の各研究会の研究成果の一部は「共同研究」総合仏教研究所研究助成中間報告」として掲載されているので、ぜひ御高覧いただきたい。

令和二年度 活動日誌

○四月二十二日（水）開始、四月三十日（木）終了。

【第一回総合仏教研究所会議】

※新型コロナウイルス感染症予防のためメール会議

で開催。

○五月十四日（木）

【総合仏教研究所総会】

※新型コロナウイルス感染症予防のためメールで資料配付。

○六月四日（木）開始、六月十一日（木）終了。

【第二回総合仏教研究所会議】

※新型コロナウイルス感染症予防のためメール会議で開催。

○七月二日（木）

【第一回総合仏教研究所運営協議会】

※新型コロナウイルス感染症予防のためオンラインで開催。

○十月一日（木）

【第一回所内研究発表会】

〈発表者〉

青木篤史：近世における僧侶養成について

—浄土宗関東十八檀林を中心に—

上條 駿：後漢皇帝の尊号と安帝追尊

倉松崇忠：俱舍学における声境の一考察

小崎良行：漢訳経軌成立に関する一考察

—善無畏訳を中心として—

○十月五日（月）

【総合仏教研究所 研究会代表者会議】

※新型コロナウイルス感染症予防のため報告書の提出で代替。

○十月十五日（木）

【第二回所内研究発表会】

〈発表者〉

長尾光恵：唐代初期の弥陀弥勒相對論に付随する議

論について

春本龍彬：廬山寺藏『選択集』の修復に関する一考

察

○十月二十九日(木)

【第三回所内研究発表会】

〈発表者〉

米川佳伸：『弁顕密二教論』に引用された『分別聖

位經』について

野々部利生：空海の撰述目録について

○十一月九日(月)開始、十一月十六日(月)終了。

【第三回総合仏教研究所会議】

※新型コロナウイルス感染症予防のためメール会議

で開催。

○十一月十九日(木)

【第一回公開講座】

〈発表者〉

長尾隆寛：法然上人『三部經大意』の書誌学的問題

について

大八木隆祥：定仙再考―定仙の出自について―

○十一月二十七日(水)

【第二回公開講座】

〈発表者〉

伊久間洋光：『如来秘密經』をめぐる

―大乘經典の相互関係の解明を中心に―

房 貞蘭：Creative etymologies (*nirukti*) of the word

śākinī in Vajrayāna literature

阿部真也：『モンゴル佛教史』の一側面

○十二月三日(木)

【第二回総合仏教研究所運営協議会】

※新型コロナウイルス感染症予防のためオンライン

で開催。

令和三年

○二月十九日(金)

【第四回総合仏教研究所会議】

※新型コロナウイルス感染症予防のためオンライン

で開催。

○二月二十五日(木)

【第三回綜合仏教研究所運営協議会】

※新型コロナウイルス感染症予防のためオンライン
で開催。

○三月十六日（火）

【研究所運営委員会】

令和三年三月二六日 印刷
令和三年三月三二日 発行

大正大学総合佛教学研究年報 第四十三号

発行人 種 村 隆 元

編 集 大正大学総合仏教研究所
東京都豊島区西巢鴨三丁目二〇番一号

印刷所 株式会社 ノンブル社
東京都新宿区西早稲田二丁目八番三三号二階

発行所 東京都豊島区西巢鴨三丁目二〇番一号
大正大学総合仏教研究所
電話〇三(三九一八)七三一一番(代表)

○研究員

大八木	隆祥	長尾	隆寛
伊久間	洋光	猪股	清郎
西野	翠	嶋田	毅寛
濱田	由美	平林	二郎
松本	恒爾	平間	二尚
木村	美保	増山	賢子
南部	千代里	石井	正稔
新井	弘賢	安孫子	稔章

○新研究員

野々部	利生	小崎	良行
-----	----	----	----

○客員研究員

アレクサンダー・オニール	清水	浩子
--------------	----	----

○研究生

上條	駿	倉松	崇忠
春本	龍彬	星	俊明

○新研究生

青木	篤史	長尾	光恵
米川	佳伸		

令和二年度大正大学総合仏教研究所名簿

(令和二年四月時点)

所長	種村隆元	教授
副所長	加島勝	教授
副所長	石川琢道	准教授
主任	横山裕明	非常勤講師
運営協議会委員	神達知純	准教授
	勝野隆広	教授
	堀内規之	教授
	種村隆元	教授
	林田康順	教授
	宮寄洋一	教授
	佐々木倫朗	教授
	小嶋知善	教授
	渡辺麻里子	准教授
	伊藤淑子	教授
	星川啓慈	教授
	村上興匡	教授
	春本秀雄	教授
特別講師	竹村牧男	先生
特別講師	齋藤隆信	先生
特別講師	矢野秀武	先生
客員教員	牛黎濤	非常勤講師

○研究所講師

阿部真也

房

貞蘭

